

事業目標値達成状況進捗管理表

方針	指標	現状値	目標値	目標設定の考え方	前期					考察
					R3	R4	R5	R6	R7	
自転車で行ける範囲では【気軽に自転車】に乗れる環境づくり	市街化区域内の自転車利用者の割合 市街化区域内32地点での交通量調査に基づき設定(県立豊橋商業高校実施調査を活用)	4.8% (令和元年度)	7%以上 (令和12年度)	自転車でも行けるような身近な場所でも、自家用車を選択してしまう状況も見られます。自転車でいける範囲で、もっと気軽に自転車が選ばれる環境整備を進めます。その達成状況を評価するため、市街化区域内における【自転車利用者の割合】をもとに検証を行います。	4.1%	4.5%	-	-	-	・令和3年度と比較しても割合はほぼ横ばいとなっているが、観測地点によっては昨年度比で倍になっている箇所や11時頃の昼間帯の利用が増えている。引き続き自転車の環境整備を進めていきたい。
いつもの通勤・買物、余暇での移動を“運動時間”にする【自転車健康ライフ】の環境づくり	通勤時の自転車利用率 従業員50人以上※の事業所での通勤時の自転車利用者の割合 ※豊橋商工会議所会員のうち従業員50人以上での届出の事業所	7.2% (令和2年度)	9%以上 (令和12年度)	近年、健康経営に向けたさまざまな取り組みが行われており、エコ通勤の推進として自転車通勤が進められています。日常の中での自転車活用を通じて健康づくりにつなげていくことが期待されます。達成状況を評価するため、市内事業所を対象に簡易的なアンケートを実施し、【通勤時の自転車利用率】をもとに検証を行います。	7.3%	7.1%	-	-	-	・過去2年と比較しても利用率はほぼ横ばいとなっている。回答企業を分析した結果、業種別で利用率に開きがみられた。特に自転車通勤しやすい業種に対して、利用促進を行うと効果的であると考えられる。
“自転車×とよはし”ならではの魅力を活かした【自転車で楽しめる】環境づくり	自転車を健康づくりや余暇の楽しみのために利用している人の割合 市民アンケート調査での「健康づくりや余暇の楽しみのための自転車利用」に関する設問より把握	5.5% (令和元年度)	9%以上 (令和12年度)	サイクルスポーツやサイクリング、健康づくりでの自転車利用など、楽しむための自転車利用ニーズが増えています。イベントの開催や道の駅「とよはし」、太平洋岸自転車道を活かし自転車×とよはしの魅力活用を進めます。その達成状況を評価するため、市民に対するアンケート調査を通じて【自転車を健康づくりや余暇の楽しみのために利用している人の割合】をもとに検証を行います。	R7 報告予定					